

2015年3月期決算説明会

項目	スピーカー
(事務局から)	司会者
1. はじめに	取締役専務執行役員 嘉戸 廣之
2. 15. 3期決算概要について	経理部長 池尻 修
3. 16. 3期業績予想について	経営企画部長 青柳 俊之
(質疑応答)	

NHKニッパツ

日本発条株式会社



はじめに

取締役専務執行役員 嘉戸廣之

15. 3期実績

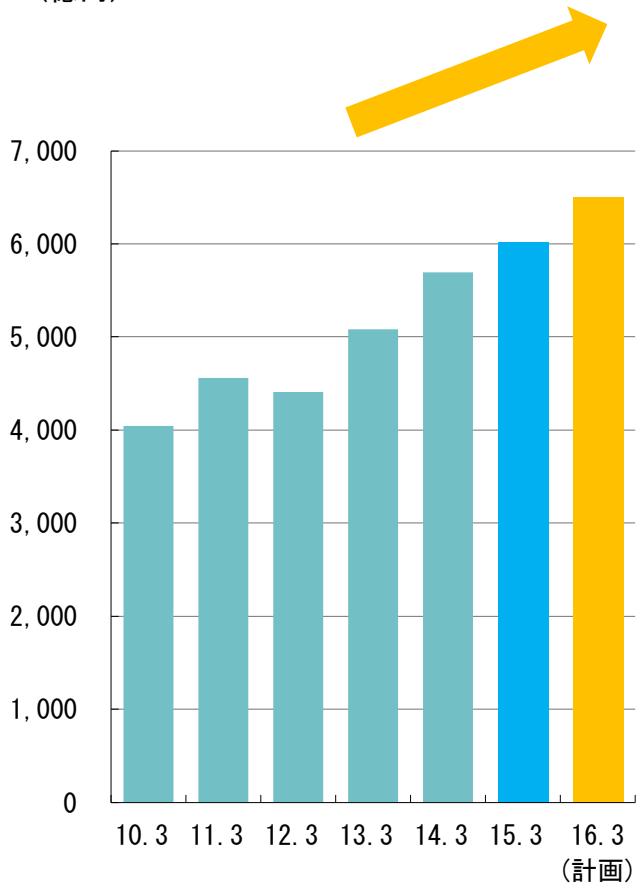
- ・ 売上高 6,014億円(前期比 5.6%増)
- ・ 営業利益 327億円(利益率 5.4% / 前期比12.7%減)
- ・ 経常利益 390億円(利益率 6.5% / 前期比 5.7%減)
- ・ 当期純利益 238億円(利益率 4.0% / 前期比 3.3%減)
- ・ E P S 98.29円
- ・ R O E 9.9% (前期 12.1%)

16. 3期業績予想

- ・ 売上高 6,500億円(前期比 8.1%増)
- ・ 営業利益 380億円(利益率 5.8% / 前期比16.2%増)
- ・ 経常利益 400億円(利益率 6.2% / 前期比 2.4%増)
- ・ 当期純利益※ 260億円(利益率 4.0% / 前期比 8.9%増)
- ・ E P S 107.04円
- ・ R O E 9.5%

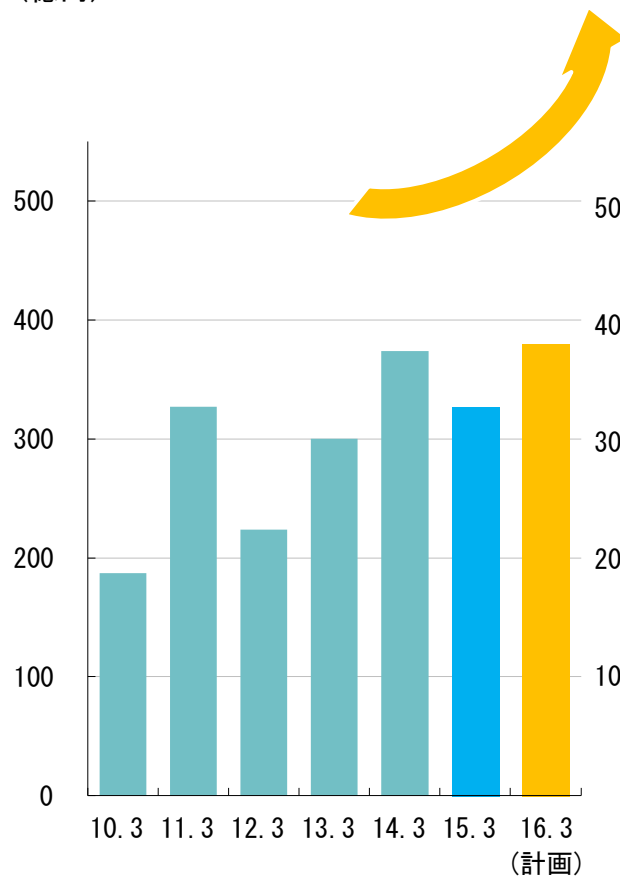
売上高

(億円)



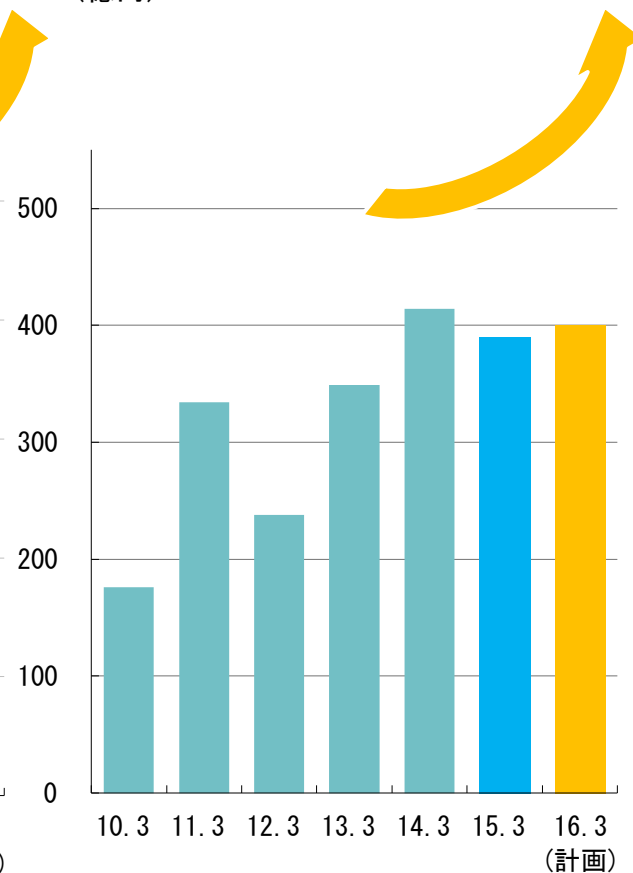
営業利益

(億円)



経常利益

(億円)



15. 3期実績につきまして

(単位：億円)

	14. 3期	15. 3期					
	実績	実績	前期比	15. 3期		当初計画 (14. 5. 12時点)	修正計画 (14. 11. 6時点)
				当初計画比	修正計画比		
売上高	5,697	6,014	5.6%	3.7%	1.9%	5,800	5,900
営業利益	374	327	△12.7%	△9.2%	5.5%	360	310
経常利益	414	390	△5.7%	2.8%	14.9%	380	340
当期純利益	246	238	△3.3%	△0.5%	8.5%	240	220
EPS (単位：円)	101.60	98.29	—	—	—	98.81	90.57
為替レート US\$	100.0	110.0	—	—	—	100.0	105.0

16. 3期業績予想

(単位：億円)

	15. 3期 実績	16. 3期 計画	前期比
売上高	6,014	6,500	8.1%
営業利益	327	380	16.2%
経常利益	390	400	2.4%
当期純利益 [※]	238	260	8.9%
EPS (単位：円)	98.29	107.04	—
為替レート US\$	110.0	115.0	—

※親会社株主に帰属する当期純利益

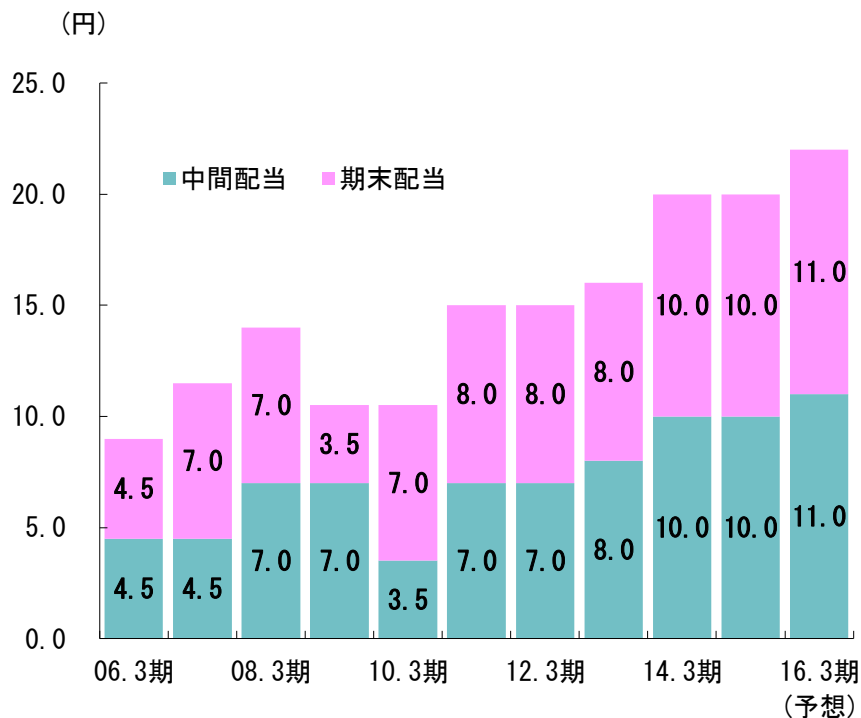


2015年度経営方針

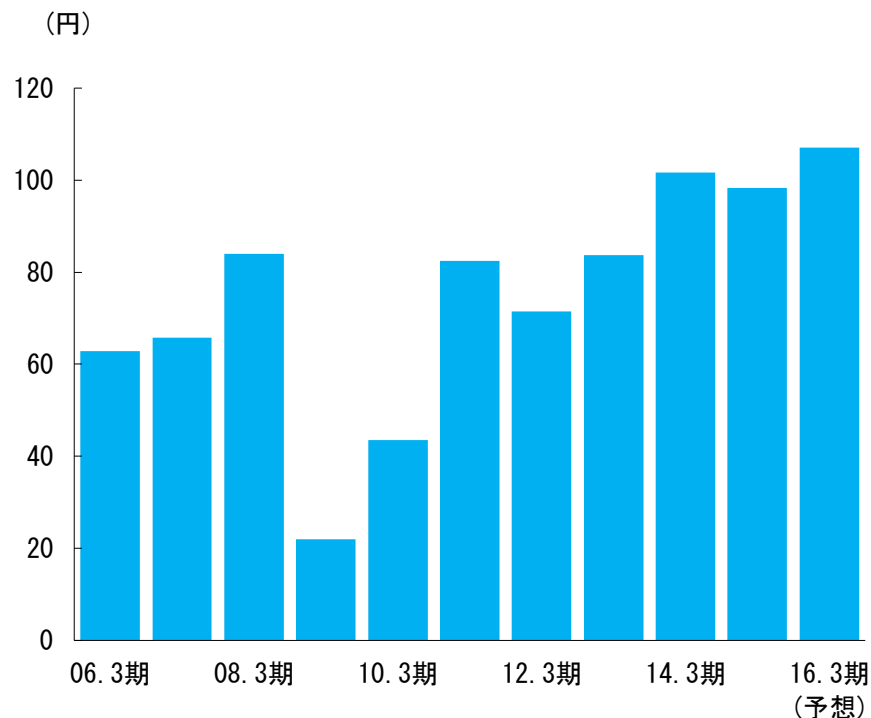
- ① グローバルモノづくりにおける
リスクの再点検と未然防止への取組み強化
- ② さらに業績拡大に向けて、改善・改革の着実な実行
- ③ 持続的成長に向けた、製販一体による現製品のシェアアップと、
市場・顧客ニーズの視点による新製品開発及び事業化の加速
- ④ グループ・グローバルでのCSR浸透の促進
- ⑤ 多様な人材がイキイキと働ける職場風土、環境づくりの推進

当期の配当につきまして

一株当たり配当額



1株当たり当期純利益



	第2四半期末	期末	合計	配当性向
15.3期	10.0円	10.0円	20.0円	20.3%
16.3期 (予想)	11.0円	11.0円	22.0円	20.6%

15. 3期決算概要について

経理部長 池尻 修

15.3期実績①

セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ タイの回復の遅れ、米国子会社における想定を上回る増産への対応（懸架ばね事業）、新規受注製品の立上対応（シート事業）のため減益となったものの、売上高合計は過去最高を更新。
- ◆ 精密部品事業のうち、HDD関連事業は、HDDの数量増・為替効果から業績が回復。

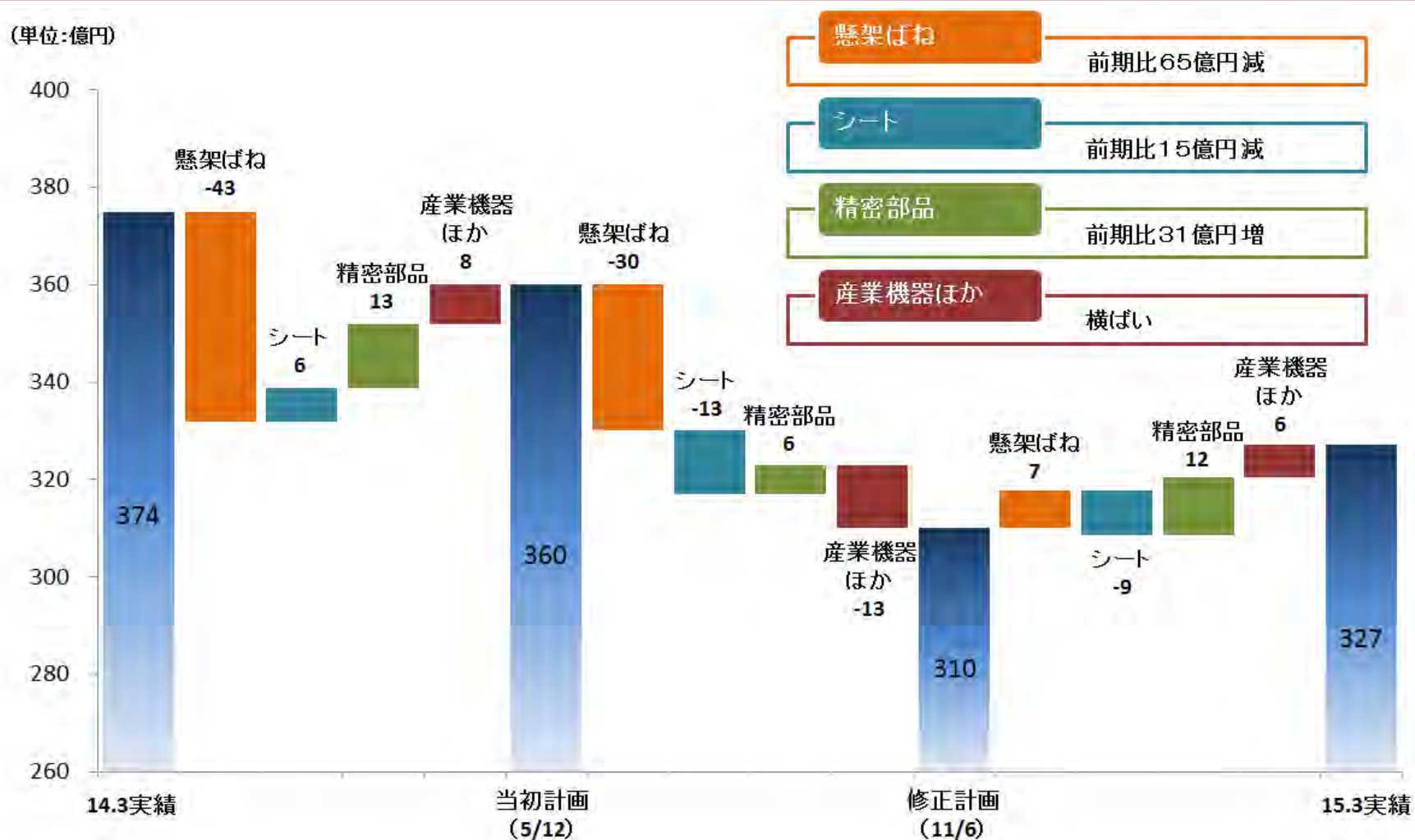
(単位：億円)

		14.3実績	15.3実績	15.3 当初計画 (14.5.12時点)	15.3 修正計画 (14.11.6時点)	前期比	当初 計画比	修正 計画比
懸架ばね	売上高	1,204	1,217	1,156	1,176	1.1%	5.3%	3.5%
	営業利益	152	87	110	80	△42.6%	△20.2%	9.7%
	率	12.7%	7.2%	9.5%	6.8%	-	-	-
シート	売上高	2,455	2,662	2,536	2,613	8.4%	5.0%	1.9%
	営業利益	126	110	133	120	△12.3%	△16.8%	△7.8%
	率	5.1%	4.2%	5.2%	4.6%	-	-	-
精密部品	売上高	1,286	1,370	1,321	1,326	6.5%	3.7%	3.3%
	営業利益	55	87	69	75	55.6%	26.2%	16.1%
	率	4.4%	6.4%	5.2%	5.7%	-	-	-
産業機器 ほか	売上高	751	763	787	785	1.7%	△3.0%	△2.7%
	営業利益	39	41	48	35	4.1%	△13.6%	18.5%
	率	5.3%	5.4%	6.1%	4.5%	-	-	-
合 計	売上高	5,697	6,014	5,800	5,900	5.6%	3.7%	1.9%
	営業利益	374	327	360	310	△12.7%	△9.2%	5.5%
	率	6.6%	5.4%	6.2%	5.3%	-	-	-

15.3期実績②

営業利益の変動要因分析

- ◆ 日本、タイの自動車生産台数減を織り込んでいたものの、当初計画に対しては大幅な未達。
- ◆ 修正計画に対しては、HDD関連事業の回復もありほぼ想定内の着地。

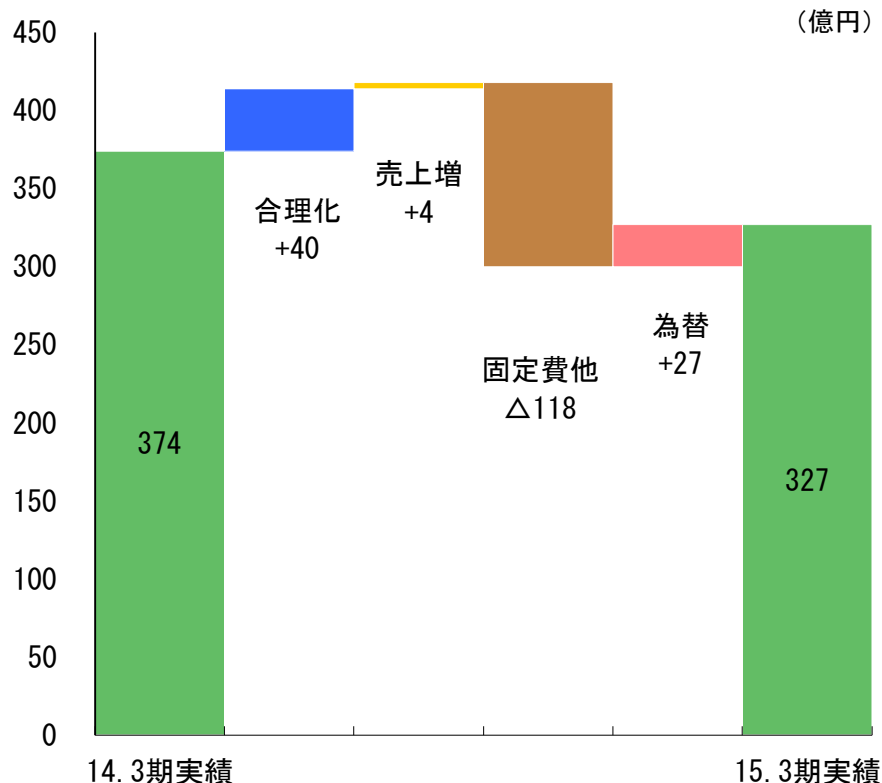


15.3期実績③

営業利益の変動要因分析

- ◆ 北米子会社における費用増および生産繁忙に伴う合理化の進捗に遅れ。
- ◆ 競争力強化、新規受注に向けた積極的な研究開発、設備投資が先行。

15.3実績



(単位：億円)

前期増減	増減要因	今後の対応
合理化	+40 変動費、固定費の合理化	原価低減、固定費削減活動の継続
売上増	+4 ニッパツ受注車種構成の変化 新規連結会社	確実な受注の獲得、拡販
固定費他	△118 人件費、研究開発費、設備投資の増加 北米子会社における増産及び立上費用の増加	先行開発投資の回収
為替	+27 円安メリットの享受	為替変動リスクの極小化

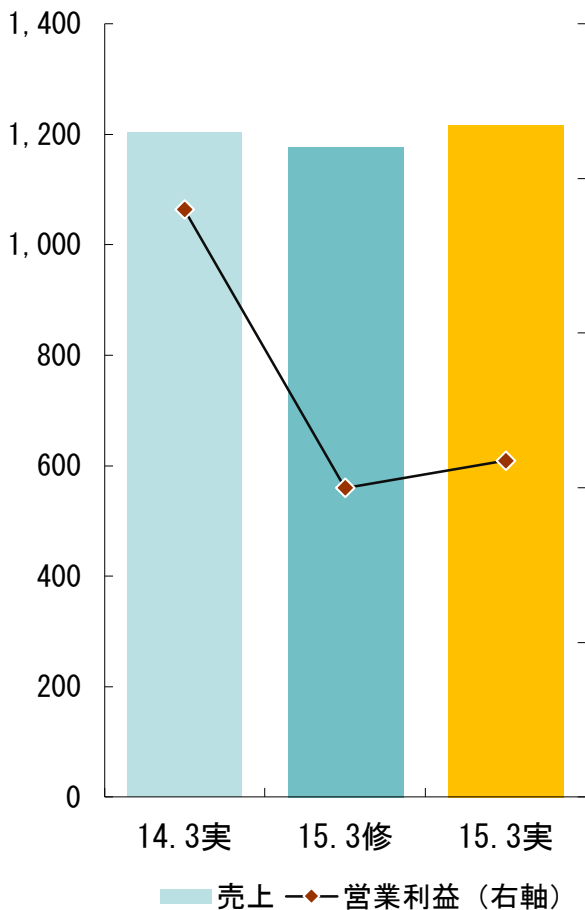
15.3期実績④

セグメント別分析① 懸架ばね

(億円)

(億円)

(単位：億円)



	14.3 実績	15.3 実績	15.3 当初計画 (14.5.12時点)	15.3 修正計画 (14.11.6時点)	前期比	修正 計画比
売上高	1,204	1,217	1,156	1,176	1.1%	3.5%
営業利益	152	87	110	80	△42.6%	9.7%
営業利益率	12.7%	7.2%	9.5%	6.8%	-	-

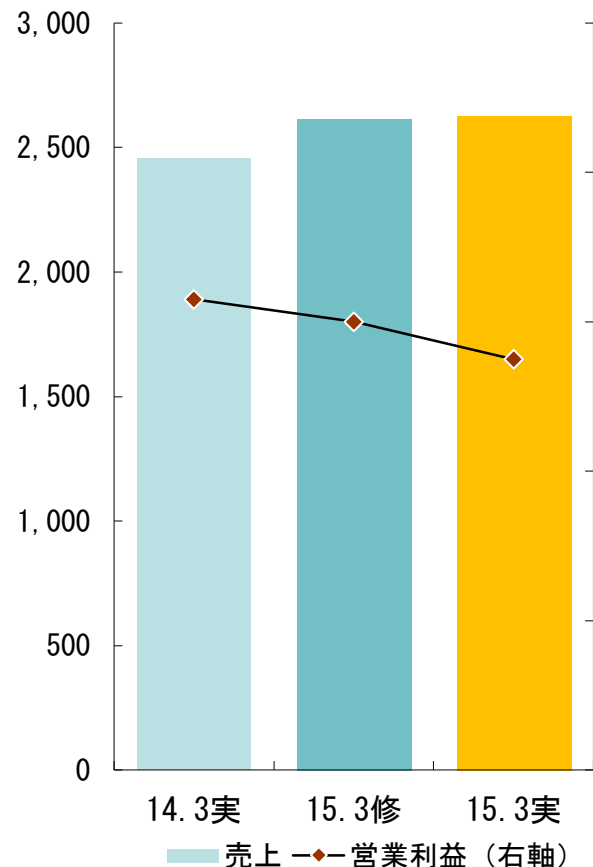
▽対前期実績：タイの回復の遅れ、北米子会社での想定を上回る増産への対応から、営業利益は大幅減益。
 ▽対修正計画：国内での商用車の生産増と為替効果もあり、売上は好調、営業利益はほぼ想定通り着地。

15.3期実績⑤ セグメント別分析② シート

(億円)

(億円)

(単位：億円)



	14.3 実績	15.3 実績	15.3 当初計画 (14.5.12時点)	15.3 修正計画 (14.11.6時点)	前期比	修正 計画比
売上高	2,455	2,662	2,536	2,613	8.4%	1.9%
営業利益	126	110	133	120	△12.3%	△7.8%
営業利益率	5.1%	4.2%	5.2%	4.6%	-	-

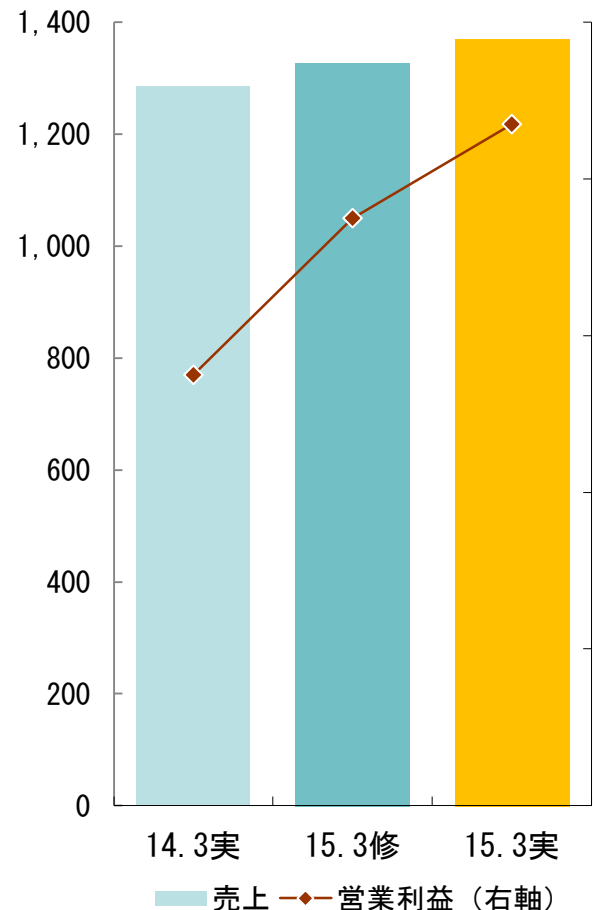
▽対前期実績：グローバルで売上は増加したものの、北米子会社で想定以上に立上費用が増加。下期より国内外でのニッパツ受注車種構成の変化もあり減益。

▽対修正計画：北米子会社での合理化進捗の遅れ、ニッパツ受注車種構成の変化から減益。

15.3期実績⑥

セグメント別分析③ 精密部品

(億円)



(億円)

(単位：億円)

	14.3 実績	15.3 実績	15.3 当初計画 (14.5.12時点)	15.3 修正計画 (14.11.6時点)	前期比	修正 計画比
売上高	1,286	1,370	1,321	1,326	6.5%	3.3%
営業利益	55	87	69	75	55.6%	16.1%
営業利益率	4.4%	6.4%	5.2%	5.7%	-	-

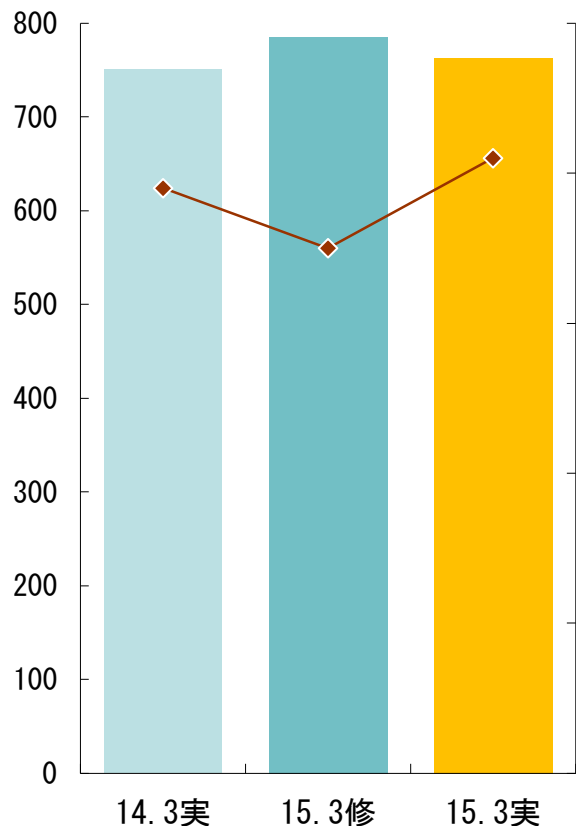
▽対前期実績：HDDの数量増、為替効果により営業利益が大幅に回復。

▽対修正計画：下期も順調に売上数量が増加し、円安基調の継続もあり修正計画に対し上振れ。

15.3期実績⑦

セグメント別分析④ 産業機器ほか

(億円)



(億円)

	14.3 実績	15.3 実績	15.3 当初計画 (14.5.12時点)	15.3 修正計画 (14.11.6時点)	前期比	修正 計画比
売上高	751	763	787	785	1.7%	△2.7%
営業利益	39	41	48	35	4.1%	18.5%
営業利益率	5.3%	5.4%	6.1%	4.5%	-	-

(単位：億円)

売上 —◆— 営業利益 (右軸)

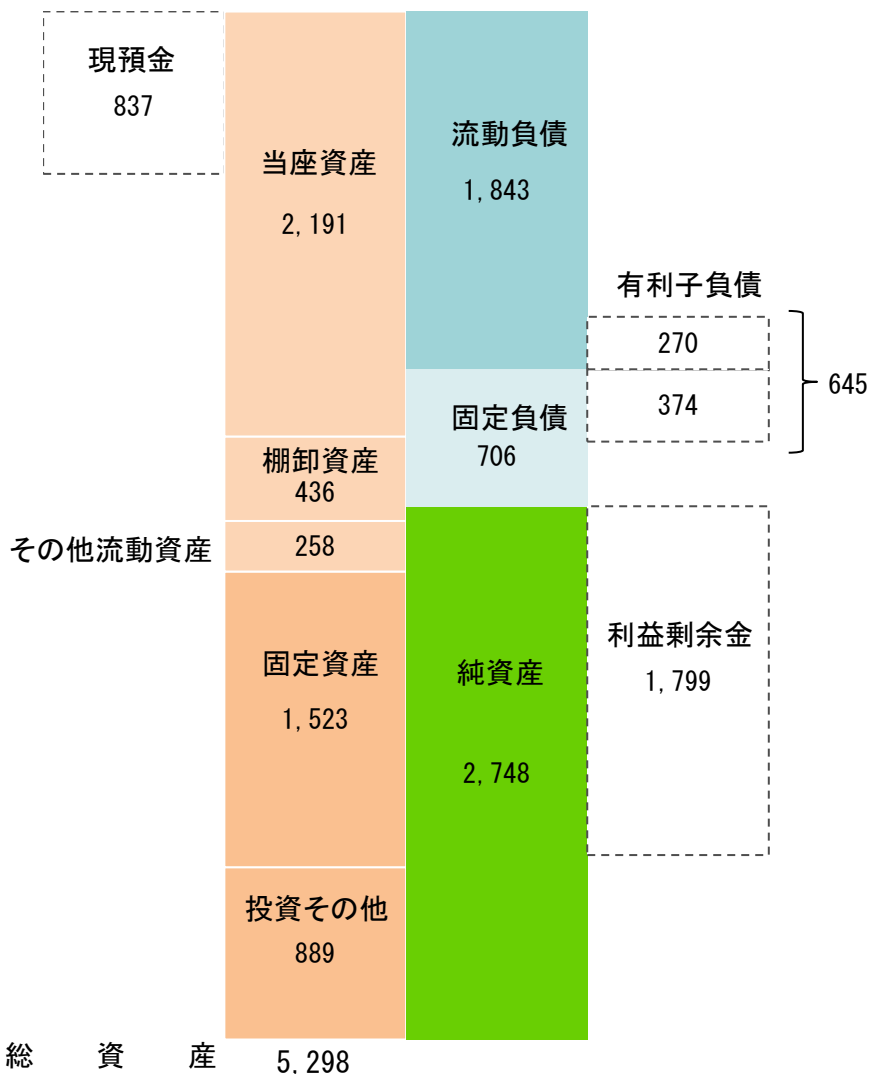
▽対前期実績：為替の押し上げも寄与し、各製品分野で堅調に推移。

▽対修正計画：売上は下振れしたものの、営業利益は修正計画を上回る着地。

15.3期実績⑧ BSの状況①

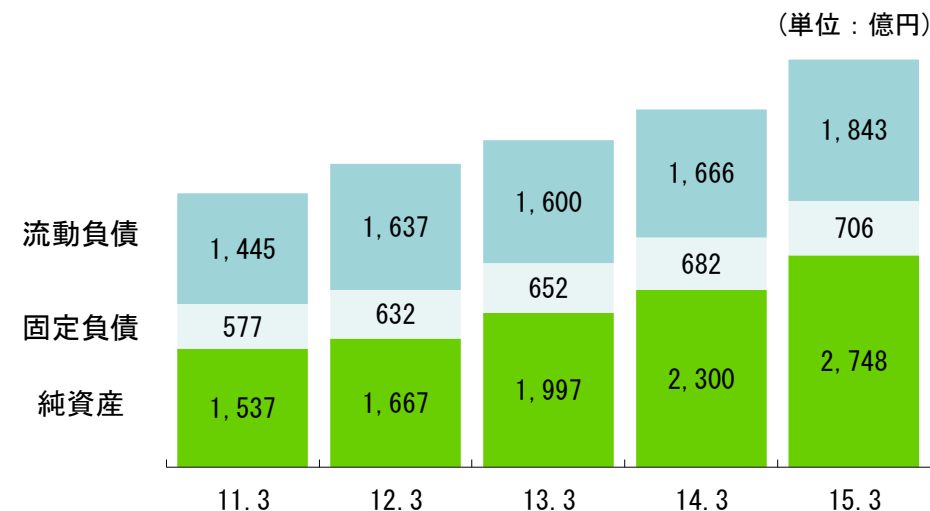
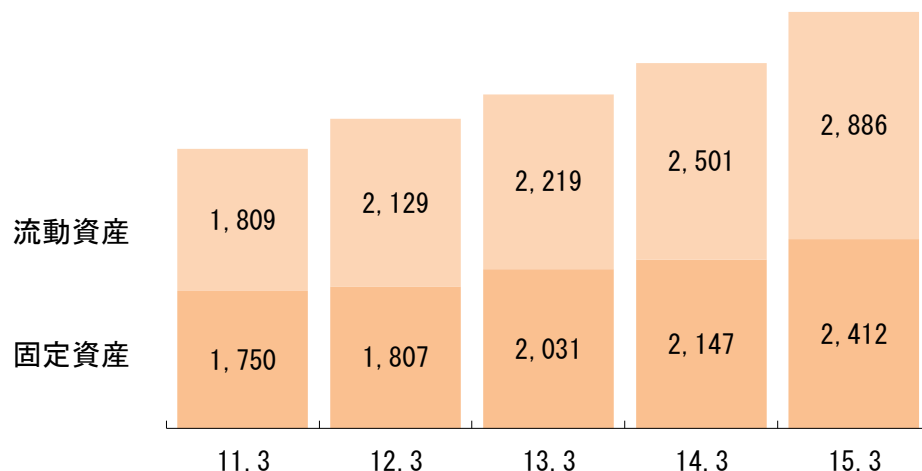
15.3バランスシート

(単位：億円)



バランスシート推移 (11.3~15.3)

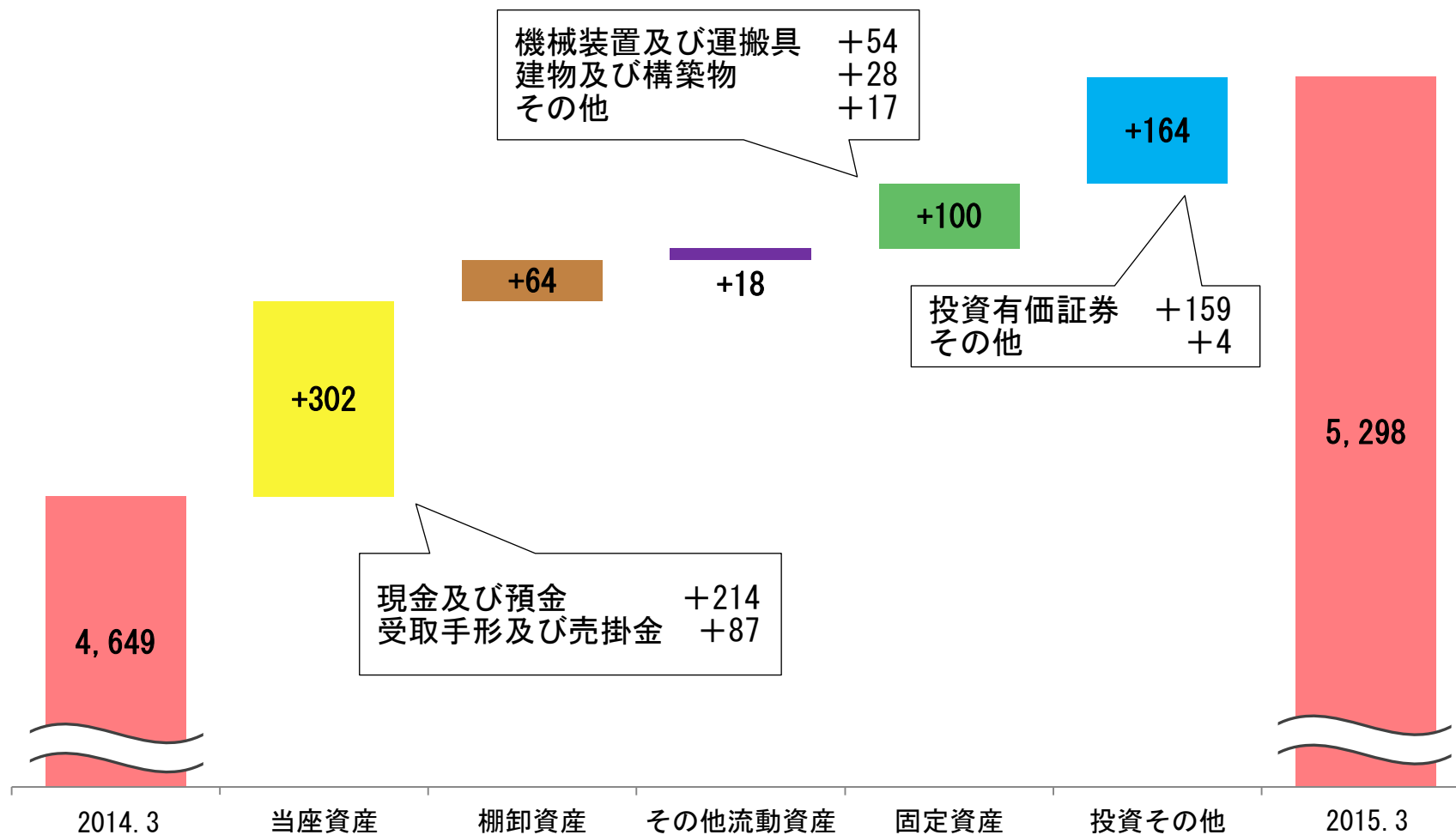
(単位：億円)



15. 3期実績⑨ BSの状況②

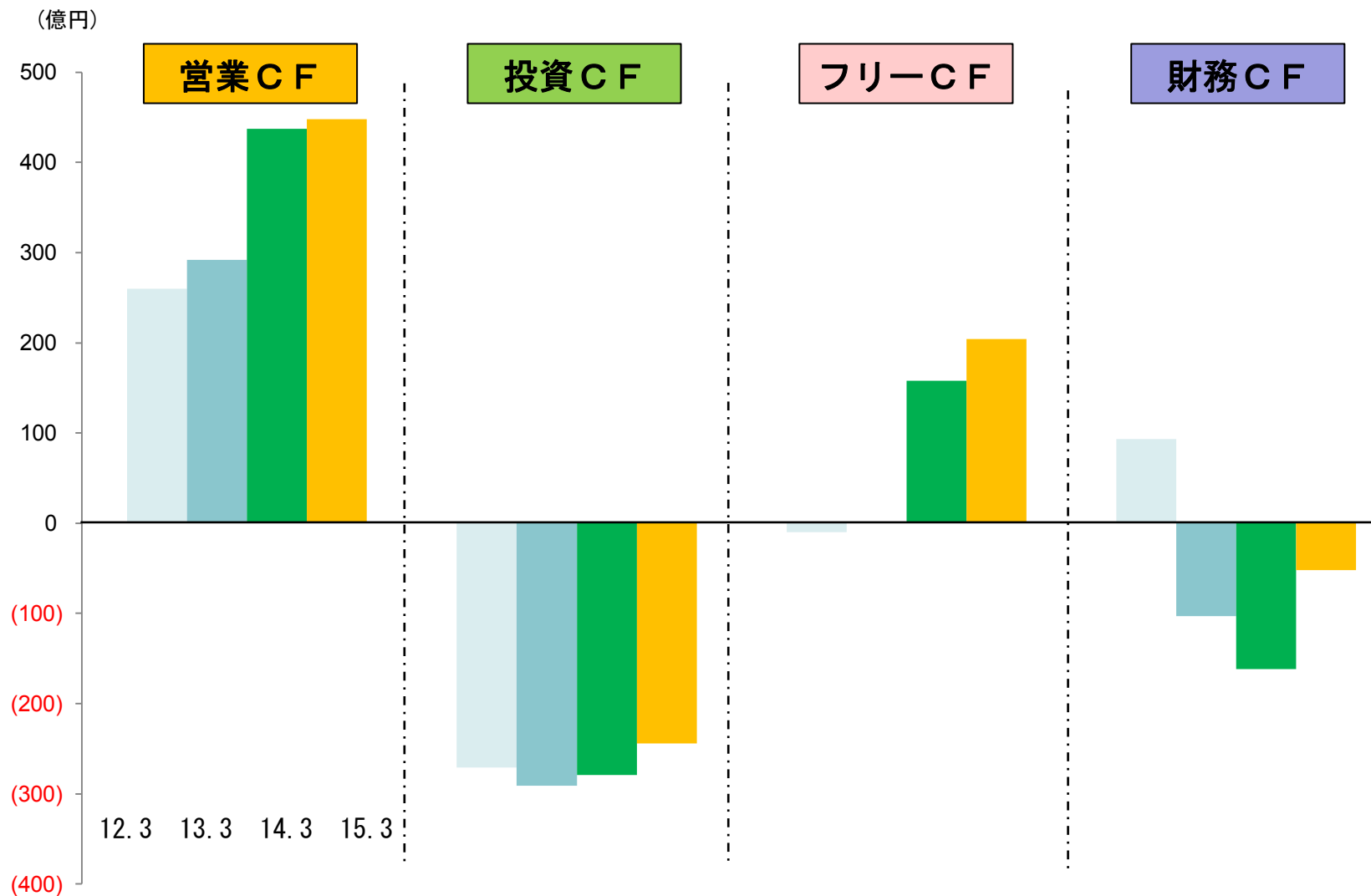
15.3 総資産増減要因

(単位：億円)



15. 3期実績⑩ C F の状況①

キャッシュフロー推移 (12. 3~15. 3)

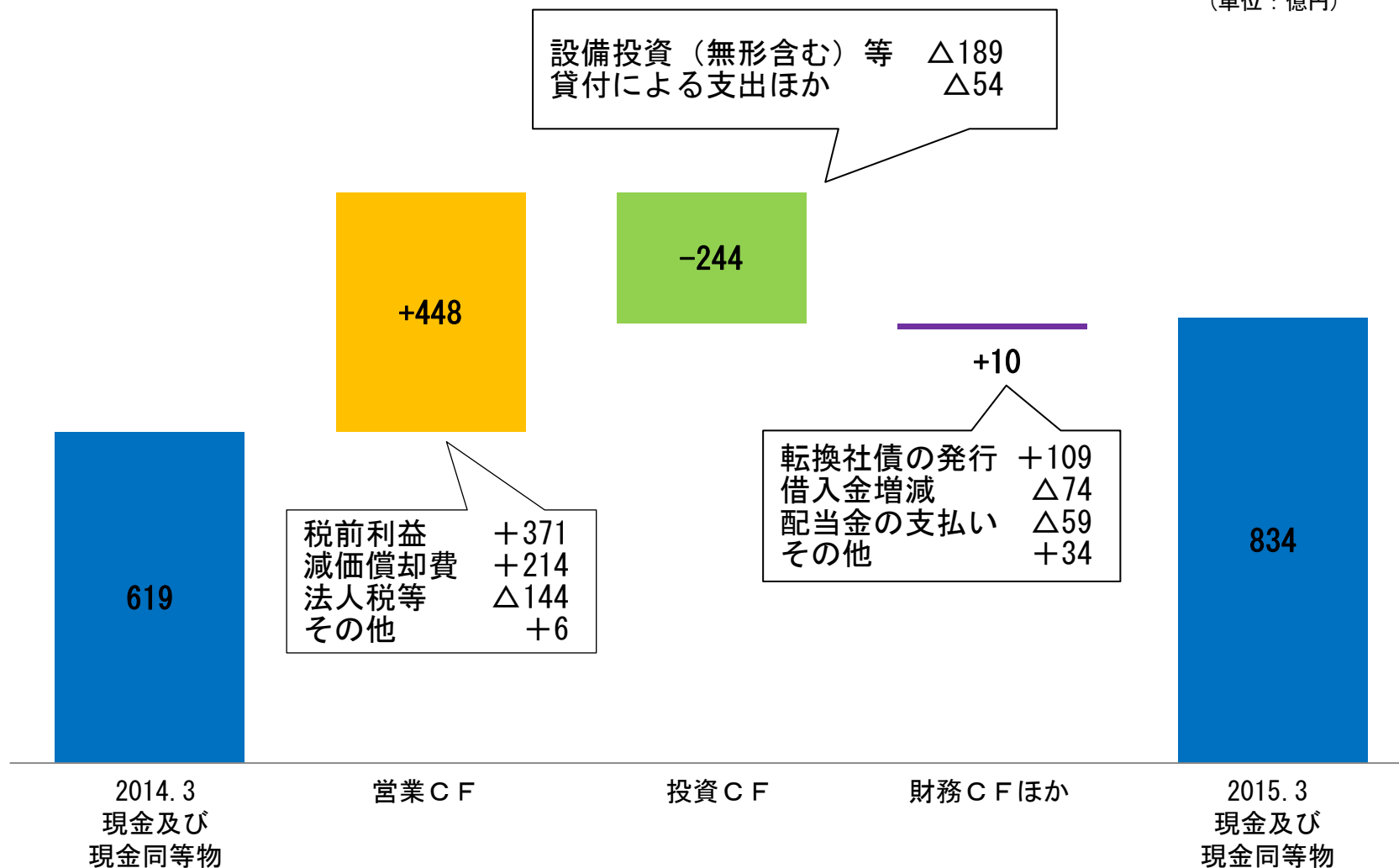


15. 3期実績①

CFの状況②

15.3 キャッシュフロー

(単位：億円)



15. 3期実績⑫

資産の状況

(単位：億円)

	10. 3	11. 3	12. 3	13. 3	14. 3	15. 3	
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	増減
総 資 産	3, 571	3, 560	3, 936	4, 250	4, 649	5, 298	649
自 己 資 本	1, 342	1, 428	1, 549	1, 900	2, 182	2, 626	443
自己資本比率	37. 6%	40. 1%	39. 3%	44. 7%	46. 9%	49. 6%	2. 7%
有 利 子 負 債	662	589	710	719	610	645	35
ネットキャッシュ	△302	△56	△117	△148	12	191	179

16. 3期業績予想について

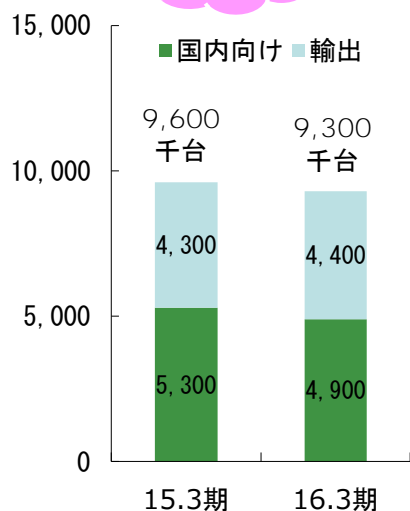
経営企画部長 青柳 俊之

16. 3期業績予想①

業績予想の前提条件(自動車生産台数、HDD台数)

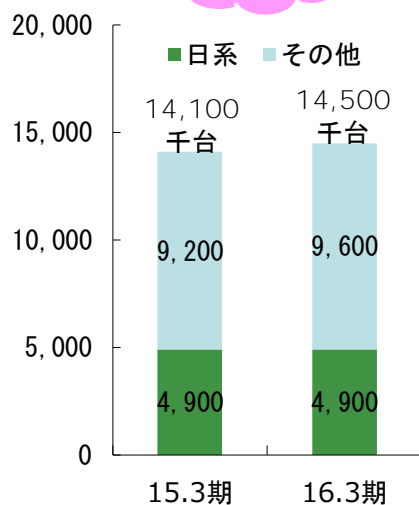
日本

△3%減



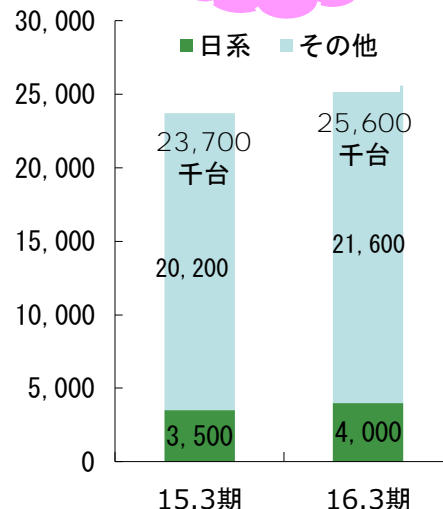
北米

+3%増



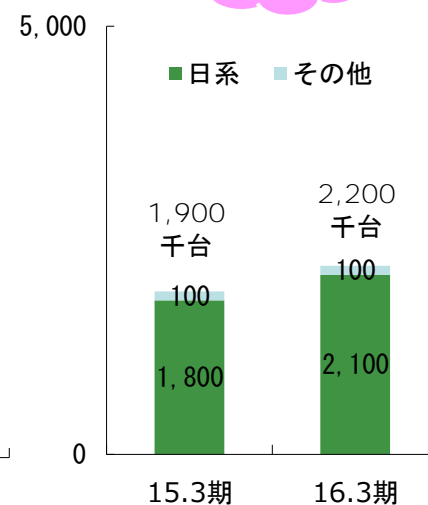
中国

+8%増



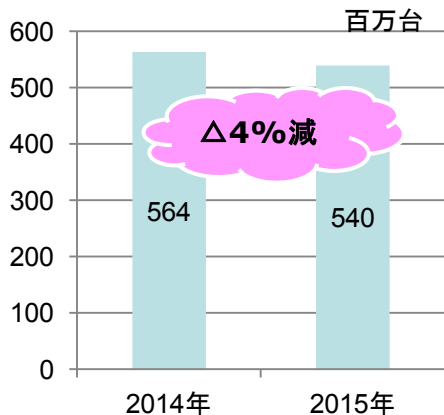
タイ

+16%増



HDD台数(全世界)

△4%減



- 北米、中国では自動車生産台数が引き続き増加、タイも復調を見込むが、日本は軽自動車増税後の反動減もあり減少を予想。
- HDD生産台数は、スマートフォン、タブレット普及によるPC離れが継続し、下振れする見通し。

16. 3期業績予想②

2016年3月期 通期計画

(単位：億円)

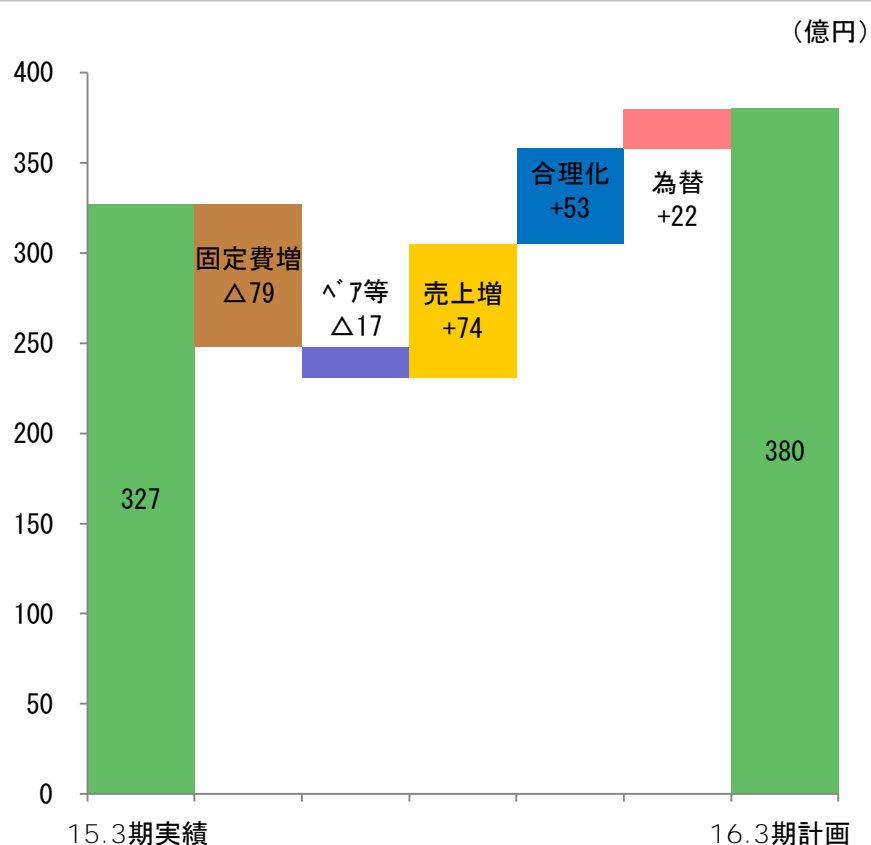
	15. 3期 実績	16. 3期 計画	前期比
売上高	6,014	6,500	8.1%
営業利益	327	380	16.2%
経常利益	390	400	2.4%
当期純利益※	238	260	8.9%
1株当たり当期純利益 (EPS 単位円)	98.29	107.04	—
為替レート US\$	110.03	115.00	—
為替レート THB	3.27	3.60	—

※親会社株主に帰属する当期純利益

16.3期業績予想③ 営業利益の変動要因分析

- ◆ 自動車生産増に伴う売上増、円安継続により、営業利益は増益の見込み。
- ◆ 競争力強化、新規受注に向けた積極的な研究開発、設備投資が先行。

16.3計画



(億円)

	前期 増減	増減要因	今後の対応
固定費増	△79	研究開発費、償却費の増加	投資回収の継続
ヘア等	△17	新興国での人件費UPに加え、日本もヘア影響	自動化投資の推進
売上増	+74	売上増に伴う利益増	確実な受注の獲得、拡販と生産増への対応
合理化	+53	変動費、固定費の合理化	原価低減、固定費削減活動の継続
為替	+22	円安メリットの享受	為替変動リスクの低減

16. 3期業績予想④

セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 自動車関連は、世界生産台数の増加を背景に、売上高は前期比増加となる見通し。懸架ばねは売上増に加え、北米の収支改善を見込んでいる。シートはタイ・北米の売上増により増収増益となる見込み。
- ◆ 精密部品は、HDD向けは平均売価ダウンにより減益となるが、自動車関連の受注増により増収増益の見込み。

(単位：億円)

		15. 3期 実績	16. 3期計画			対前期比
			上期予想	下期予想	通期予想	
懸架ばね	売上高	1,217	635	656	1,291	6.0%
	営業利益	87	47	70	118	34.4%
	率	7.2%	7.5%	10.8%	9.1%	—
シート	売上高	2,662	1,407	1,509	2,916	9.5%
	営業利益	110	41	78	120	8.9%
	率	4.2%	3.0%	5.2%	4.1%	—
精密部品	売上高	1,370	716	748	1,464	6.8%
	営業利益	87	40	58	98	13.5%
	率	6.4%	5.6%	7.8%	6.7%	—
産業機器 ほか	売上高	763	392	437	829	8.6%
	営業利益	41	10	32	42	3.0%
	率	5.4%	2.7%	7.4%	5.2%	—
合計	売上高	6,014	3,150	3,350	6,500	8.1%
	営業利益	327	140	240	380	16.2%
	率	5.4%	4.4%	7.2%	5.8%	—

16. 3期業績予想⑤

地域別の売上高・営業利益の状況

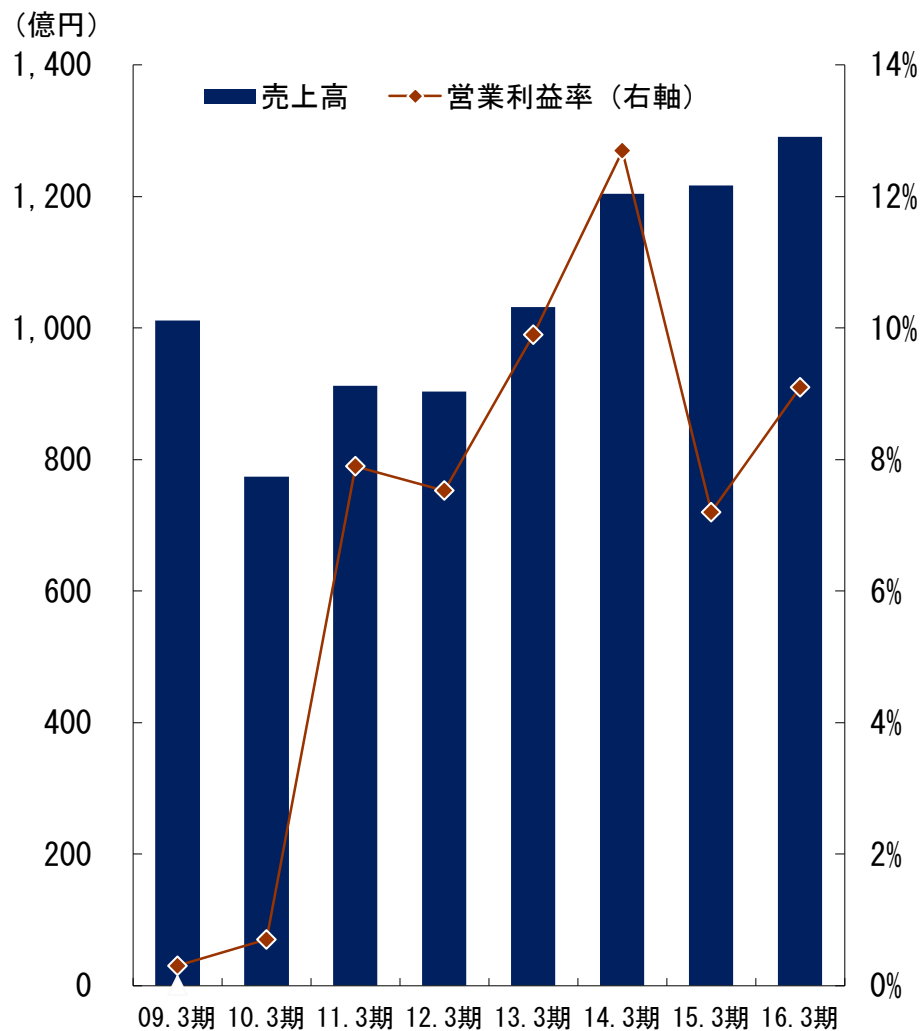
- ◆ 日本はシートの車種構成の変化、HDD向けの売価ダウンにより増収減益。
- ◆ 北米は、昨年の立上げ費用・増産対応費用等の一時的な費用増が収束することで黒字転換する。
- ◆ アジアはタイの復調が牽引し、増収増益を見込む。

(単位：億円)

		15. 3期 実績	16. 3期計画			前期比
			上期予想	下期予想	通期予想	
日本	売上高	3,551	1,837	1,873	3,710	4.5%
	営業利益	250	85	142	227	△9.5%
	率	7.1%	4.6%	7.6%	6.1%	—
北米	売上高	974	523	532	1,055	8.2%
	営業利益	△22	9	18	27	—
	率	△2.3%	1.7%	3.4%	2.6%	—
アジア	売上高	1,487	790	945	1,735	16.6%
	営業利益	98	46	80	126	28.1%
	率	6.6%	5.8%	8.5%	7.3%	—
合計	売上高	6,014	3,150	3,350	6,500	8.1%
	営業利益	327	140	240	380	16.2%
	率	5.4%	4.4%	7.2%	5.8%	—

16.3期業績予想⑥：セグメント① 懸架ばね 国内・海外での拡大対応

売上高・営業利益率の見通し



16.3期での取組み

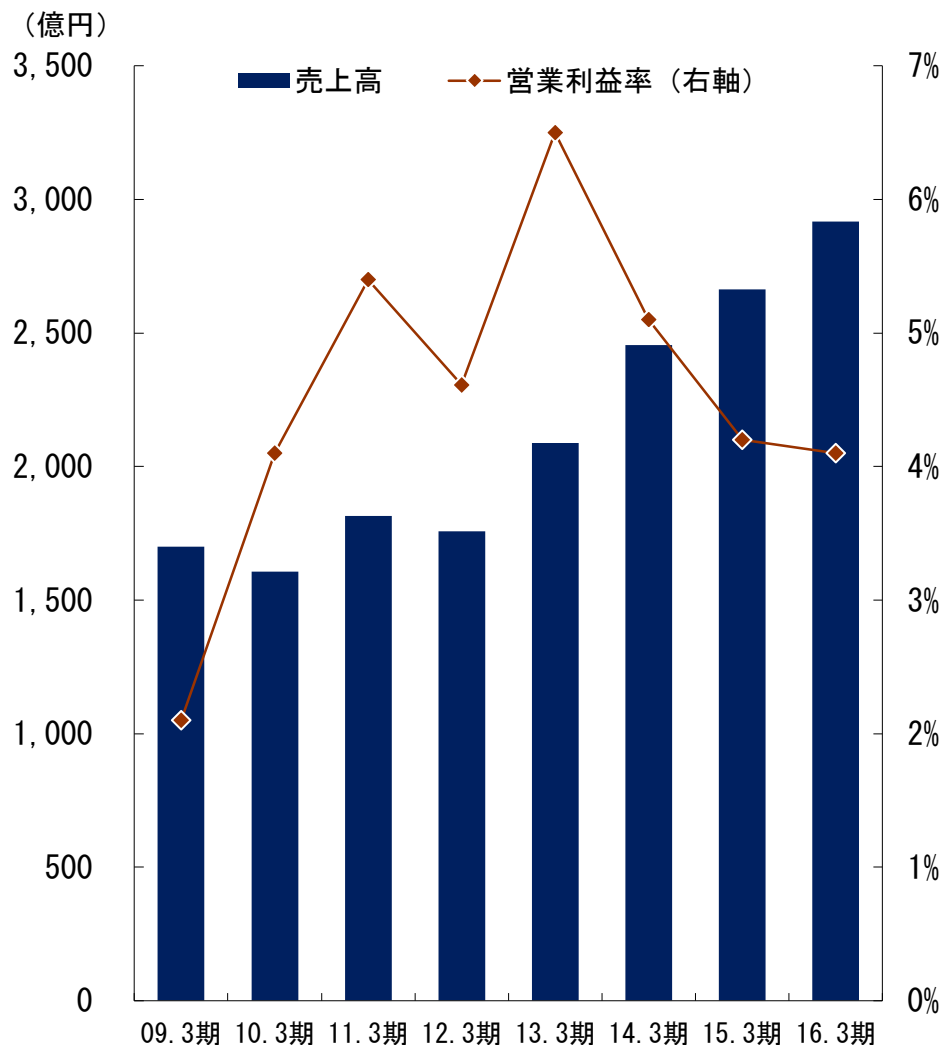
- ◆ 北米拠点の収支改善
- ◆ 新拠点(九州・インド・ハンガリー)の立上げ準備と、メキシコ工場の安定稼働
- ◆ グローバル開発体制確立を通じた客先への提案力アップ

今後の課題

- ◆ 次世代軽量化ばねの開発と拡販
- ◆ 巻きばね・スタビライザ新生産ライン生産技術の確立
- ◆ グローバル材料調達の推進

16. 3期業績予想⑦：セグメント② シート 収益確保と新規受注の獲得

売上高・営業利益率の見通し



16. 3期での取組み

- ◆ 国内工場の収益力向上と、海外拠点の収益貢献スピードアップ
- ◆ 徹底した合理化活動の推進
- ◆ 完成シート技術の確立と新規受注の獲得

今後の課題

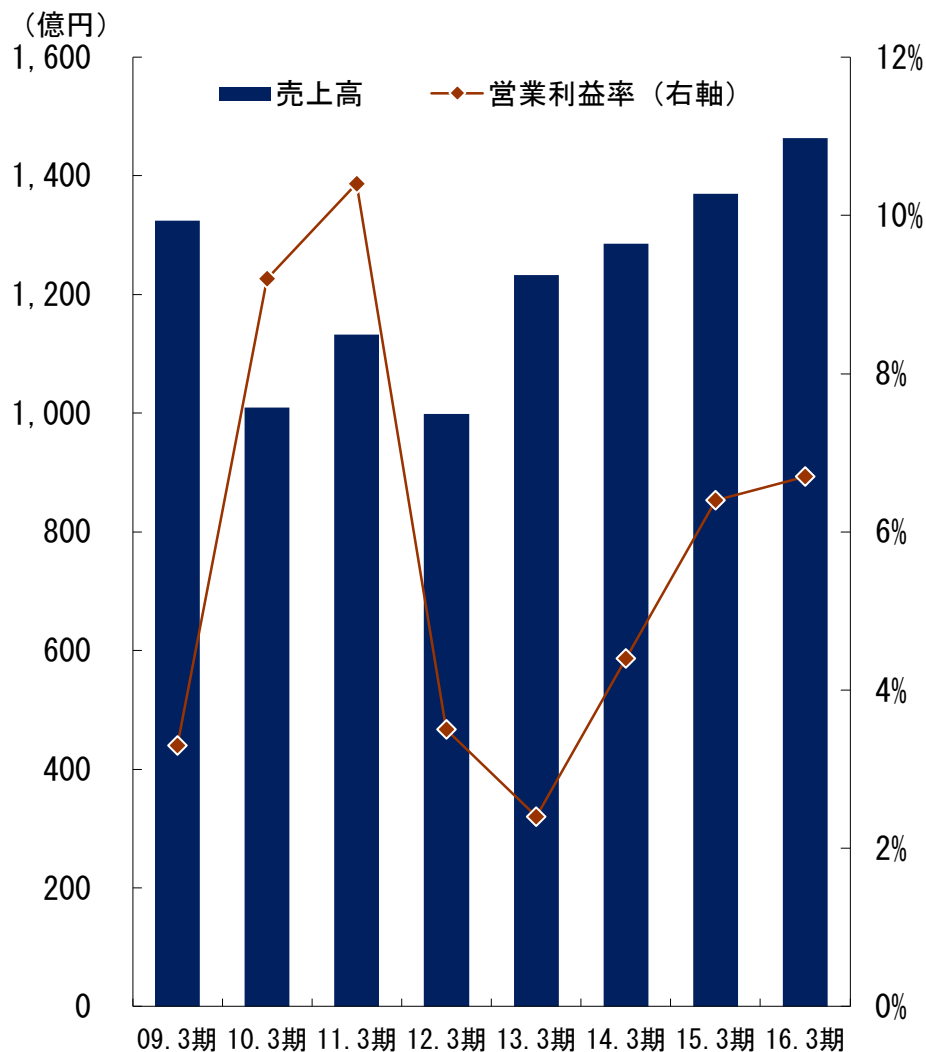
- ◆ グローバル開発・調達・供給体制の構築
- ◆ 軽量化・自動化技術を柱とした国内外拠点での新規拡販

16. 3期業績予想⑧：セグメント③

精密部品

既存事業の体質強化と新規受注の獲得

売上高・営業利益率の見通し



16. 3期での取組み

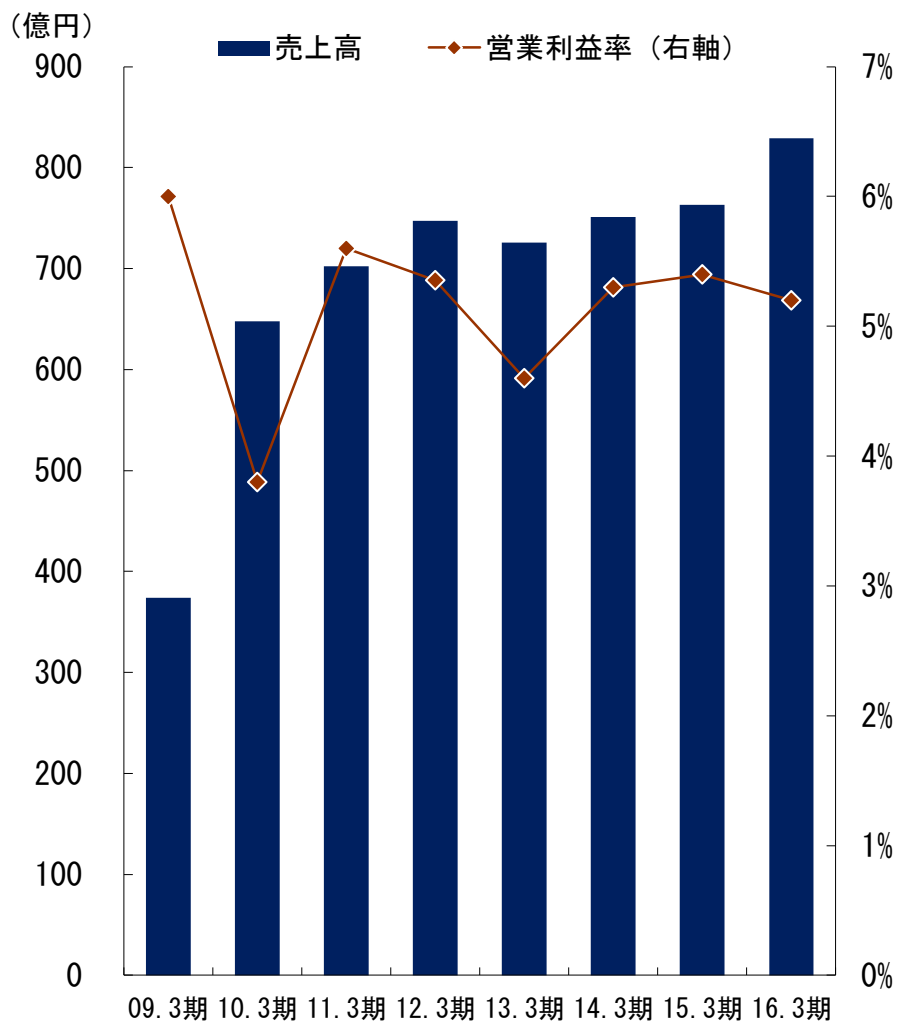
- ◆ 北米事業の収益安定化
- ◆ 自動車向け製品の国内増産対応
- ◆ 国内・海外拠点におけるライン再構築による収益向上
- ◆ 次世代製品の量産技術の確立

今後の課題

- ◆ 新規海外進出拠点の検討
- ◆ HDD業界再編動向の注視と拡販
- ◆ サスペンションの更なる拡販とシェアアップ

16. 3期業績予想⑨：セグメント④ 産業機器ほか 各事業の売上拡大

売上高・営業利益率の見通し



16. 3期での取組み

- ◆ 海外市場での拡販の推進
- ◆ 各製品開発・試作体制の強化
- ◆ 高付加価値製品の開発と早期上市
- ◆ 原価低減による駐車装置の拡販

今後の課題

- ◆ 各事業の売上拡大
- ◆ 新規拡販の推進
- ◆ 各製品開発のスピードアップ
- ◆ セキュリティ分野での応用製品の開発

16. 3期業績予想⑩

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:億円)

		13. 3期	14. 3期	15. 3期	16. 3期
		通期	通期	通期	通期予想
設備投資	国内	135	125	115	159
	海外	119	81	91	136
	合計	255	207	206	295
	非連結			35	80
減価償却費	国内	136	119	118	134
	海外	77	90	96	106
	合計	213	210	214	240
研究開発費	合計	117	138	157	166

[注]14. 3以前の非連結の設備投資については、集計していないため記載しておりません。

16. 3期業績予想⑪

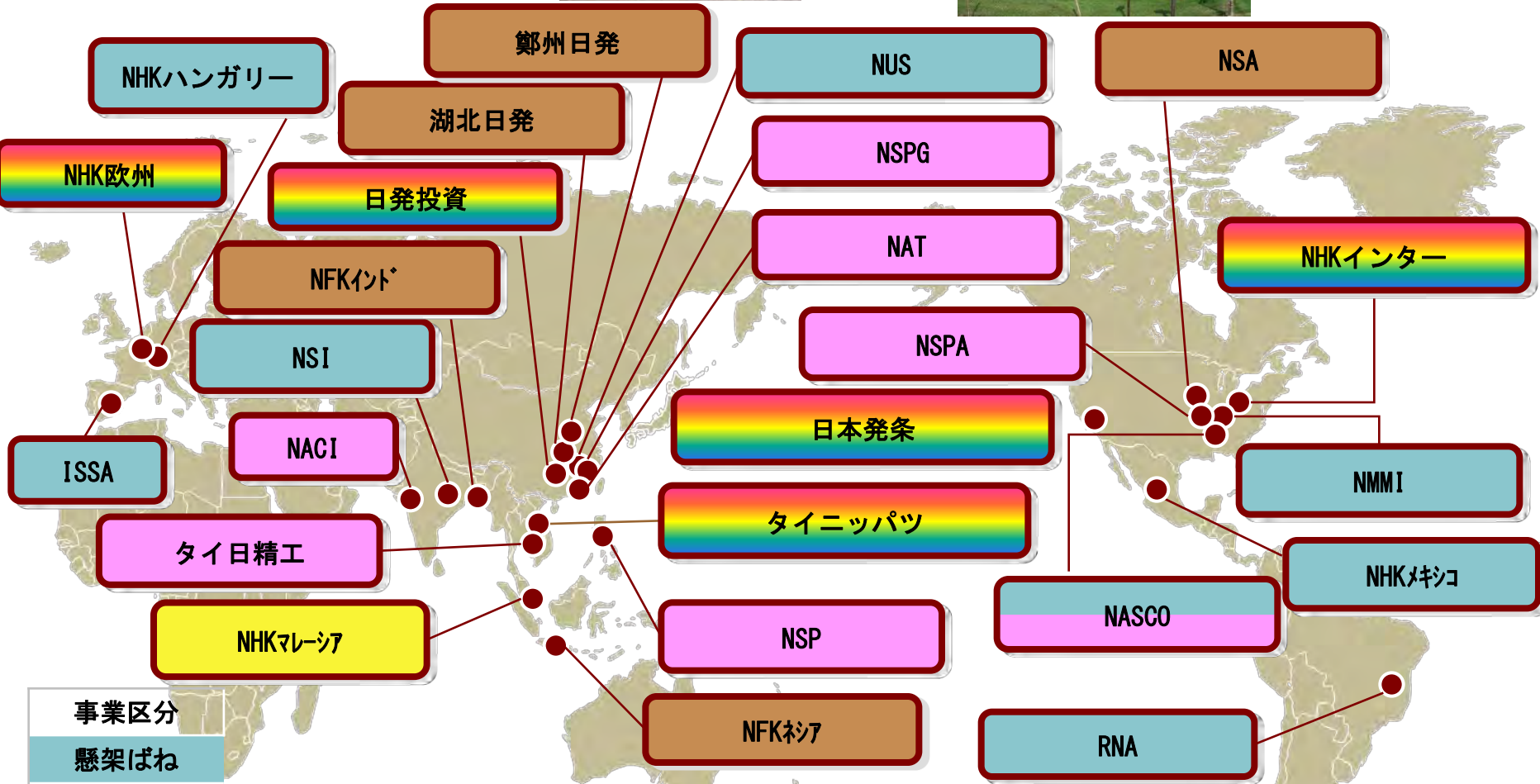
設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:億円)

		13.3期	14.3期	15.3期	16.3期
設備投資	懸架ばね	47	50	71	98
	前年比	14.9%	6.0%	41.1%	38.5%
	シート	72	41	48	53
	前年比	35.9%	△43.0%	18.3%	8.5%
	精密部品	110	97	70	114
	前年比	16.1%	△11.6%	△27.8%	63.5%
	産機ほか	24	17	16	28
	前年比	77.1%	△28.1%	△9.4%	75.7%
合計	255	207	206	295	
前年比	25.2%	△18.8%	△0.2%	42.8%	
減価償却費	懸架ばね	41	46	51	62
	前年比	0.7%	10.7%	12.9%	20.7%
	シート	47	49	47	56
	前年比	2.6%	2.5%	△3.6%	18.7%
	精密部品	104	94	94	98
	前年比	△1.5%	△9.8%	0.5%	3.3%
	産機ほか	19	20	20	23
	前年比	1.5%	5.4%	△2.5%	17.3%
合計	213	210	214	240	
前年比	0.1%	△1.6%	1.9%	12.2%	
研究開発費	117	138	157	166	
売上高比率	2.3%	2.4%	2.6%	2.6%	

補足資料

補足資料：海外展開の状況 主要海外拠点



事業区分
懸架ばね
シート
精密部品
産業機器ほか
全製品



Q: 主要カーメーカーへの売上比率は？

A: 15年3月期の実績は下表のとおり。

主要カーメーカー	14. 3期	15. 3期	コメント
日産グループ	16%	17%	
トヨタグループ	16%	16%	
富士重グループ	13%	15%	
いすゞグループ	6%	6%	
ホンダグループ	5%	5%	
スズキグループ	4%	4%	
三菱グループ	2%	2%	
マツダグループ	2%	2%	
上位3社	45%	48%	
その他	55%	52%	

Q:HDD用サスペンションの拠点別数量は？（暦年ベースと決算ベース）

A:2014年実績、2015年実績は下表のとおり。

（単位：百万個）

暦年ベース	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2014年実績	182	159	342	174	183	357	699
<日本>	74	78	151	75	78	152	304
<中国>	42	29	70	31	39	70	141
<タイ>	67	53	120	69	66	135	254
2015年実績	176						
<日本>	77						
<中国>	46						
<タイ>	54						

決算ベース	Q1	Q2	上期	Q3	Q4	下期	通期
2014年実績	186	156	342	177	182	359	702
<日本>	78	75	152	78	77	154	307
<中国>	42	29	70	31	39	70	141
<タイ>	67	53	120	69	66	135	254
2015年実績							
<日本>							
<中国>	46						
<タイ>	54						

補足資料：よくある質問と回答③

HDD関連の状況

HDD台数(百万台)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2014年実績	138	138	276	147	141	288	564
2015年実績	125						

サスペンション総需要(百万個)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2014年実績	465	462	928	510	540	1,050	1,977
2015年実績	488						

サスペンションカウント(個)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2014年実績	3.37	3.38	3.37	3.47	3.73	3.60	3.49
2015年実績	3.90						

NHK数量(百万個)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2014年実績	182	159	342	174	183	357	699

NHKシェア(%)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2014年実績	39.2	34.5	36.7	34.2	33.9	34.0	35.3

[注]HDD台数、サスペンション総需要、サスペンションカウント、シェアは当社推定値。